



なわてアルツハイマー月間2025

9月21日は認知症の日、9月は認知症月間です。

四條畷市では「なわてアルツハイマー月間」として認知症のことを身近に感じてもらうため、「なわて認知症フェア」をはじめ、様々な催しを企画しています。

なわてDEカフェ

詳細は
こちら



市内には認知症の人やご家族、地域の方が、コーヒーやお茶を飲みながら「話を聞いたり」「相談したり」カフェスタイルの交流場所があります。フェア当日にも出店しています。

図書館に認知症コーナー設置/ロビーに展示認知症パネル展

場所：四條畷図書館/市民総合センター（9月10日～27日）



認知症の人からのメッセージ

動画は
こちら



認知症と診断を受けた後も、自分らしく人生を謳歌している人がたくさんいます。希望に満ちた本人の思い、周囲のサポートの様子を動画で紹介しています。

（厚生労働省「希望の道—認知症とともに生きる—」より）

あいうえお作文（なわてロバチーム作）

な わ て 認 知 症 フ ェ ア

- …なにも出来なくなるわけじゃない
- …忘れちゃうけど私は私
- …てくてく歩くのは私なりの目的があるから徘徊と言わないで
- …認知症になっても安心して暮らせるまち
- …知っていますか？早く見つけて早く相談するのが大事
- …症状が進む前にまず相談
- …不安のままよりもまず受診
- …笑顔で接してくれると安心します
- …あなたも私も一緒に生きる！なわてLOVE♥



なわてロバチームとは
四條畷市内の医療と介護の
専門職が集まり、「認知症
になっても住みやすいま
ち」をめざして、市と連携
し取り組んでいる団体です。



「新しい認知症観」をご存じですか？

新しい認知症観とは、「認知症になってからも一人一人が個人として出来ること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等と繋がりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」という考え方です。

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができるよう、認知症施策を講じていくこととされています。

●問い合わせ● 四條畷市高齢福祉課

電話 072-877-2121 (代) または0743-71-0330 (代) FAX 072-863-6601